

# ～ 歴史と想いを、新しい風にのせて～



正門まわりの外観イメージ

これまでの経緯はこちらから確認できます

「若草中学校区（鼓阪小学校・佐保小学校）の取組」

<https://www.city.nara.lg.jp/site/kyouiku/163197.html>



担当課：奈良市教育部教育政策課（直通0742-34-5386）



これから建設工事がはじまる、新しい学校の校舎やグラウンドなどについてお知らせします。

詳細は次ページへ

## メディアセンター

- 樹木のような柱を中心に森をイメージし、学校のシンボルとなる魅力的で居心地のいい空間
- 児童が毎日通る昇降口から教室への動線上に配置することで、本を身近に感じ、いつでも触れることができる空間
- 本を手にとってみたくなる書架のレイアウトや、座って読めるベンチ、1人で静かに過ごせるスペースなど多様な空間
- 総合的な学習の拠点として、書架エリア・ディスカッションエリア・プレゼンテーションエリア等を設け、調べ学習・グループ学習や発表の場として活用できる空間



## 屋内運動場（体育館）

- 校舎の2階の北西に配置し、教室から行き来しやすくすることで、学年集会や学習発表などに活用可能
- 地域開放や災害時の避難所等の利用を考慮し、屋外から入ることができる階段を設置
- モデル校として市立学校の体育館に初めてエアコンを設置

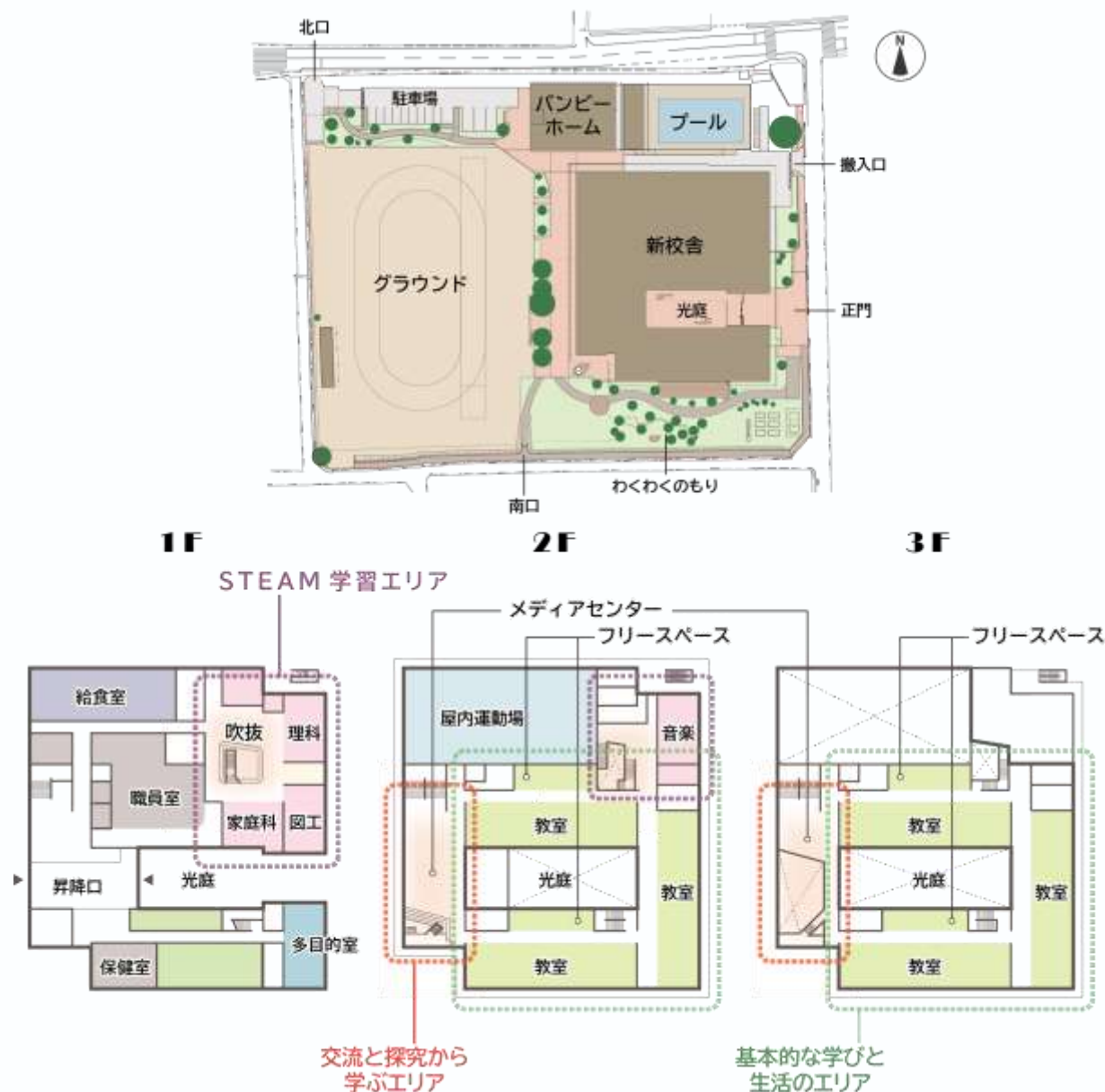
## グラウンド

- 遊具は新調し、グラウンドと校舎の間には木陰やベンチを設け、熱中症対策にもなるみんなの居場所を設置
- 北口からも歩道を設け、駐車場とグラウンドとの間には緑地帯を設けることで歩行者との動線を分離
- 西側と南側に防球ネットを設置し南側には歩道を新設

## 普通教室とフリースペース

- 校舎中央の光庭（吹抜）を囲んで1フロアに3学年のまとまりで教室を配置
- 教室と廊下の間は全面開放できる建具にし、フリースペースや廊下と一体的に利用
- 教室と廊下を広く設定し、場所にとられない学習空間でタブレットを利用した学習が可能
- 移動家具や小上がりを柔軟に活用することで、グループや個別学習等の多様なスペース

## 新しい学校のイメージ



## 教職員室

- 正門や昇降口に近い1階の中央に配置し、登下校の見守りができ、各エリアへアクセスしやすい職員室
- 児童が教職員室を通り抜けられる回遊動線をつくり、光庭に面して教員カウンターを設置
- 相談や声掛けがしやすく、児童と教職員の関係づくりを考慮した間取り

## STEAM 学習エリア

- 教科の枠を超えて、横断的・総合的な学習を実感できる「STEAM学習エリア」を整備
- 階段まわりの吹抜共有空間を中心に、理科室・図工室・家庭科室をまとめて配置
- 吹抜を囲んで、各特別教室の建具を全面開放することで1つの空間へと変身
- 音楽室は2階に配置し、吹抜や階段を通して1階の特別教室へと繋がりをを持たせる
- 校舎の2階にある体育館は、隣接するSTEAM学習エリアと繋げることで広い特別教室として活用可能

STEAM学習…奈良市が推進している教科を融合した学び  
(例) 浮世絵を見て、四季について学習する 社会×図工

## 正門まわり

- 学校の顔となる正門は従来と同じ東側に。児童をやさしく迎える
- 道路に沿ってベンチのある空間をつくり、地域による見守りや地域と学校との関わりづくりに活躍

## わくわくのもり

- 緑の持つリラククス効果のある癒しの森
- 校舎南側に緑地空間を設置し、従来の豊かな緑地のように将来に向けてみんなで育てていく森
- 豊かな生態系を観察できるビオトープを設置し、生き物がたくさんいる校庭
- みんなで育てる菜園スペース

